



高まる工場防災ニーズ

《 現場の課題 》

FRP製タンクは耐腐食性に優れるが、
長期にわたって腐食性ガスや紫外線にさらされることで強度が低下。
特に天板部分のガラス繊維の劣化は顕著で、人の体重程度で崩壊する恐れがある。

FRP製塩酸タンクへの転落事故事例 参考：厚生労働省労働基準局安全衛生部（平成24年1月11日発令文書）

2002年4月	（東京）	死亡1名	塩酸引抜のため上部開口部ねじを開ける際、ハシゴがぐらつきタンク上部に移動。破損、落下。
2006年5月	（宮崎）	死亡1名	タンク周辺の仮設足場から、タンク付属のハシゴで地上に降りるためタンク頂部に移動。破損、落下。
2006年8月	（愛媛）	死亡1名	塩酸除去作業のため、天板状のマンホールボルトの抜取作業中に、天板が抜け転落。
2011年8月	（千葉）	死亡2名	鋼板のさび落とし用塩酸タンクの移設作業中、タンク上部に乗ったところ割れて落下。救助者も死亡。

これまでは

- ・タンクメーカーによる定期的な検査、点検。劣化診断。
- ・作業者への安全教育の徹底。
- ・作業者がFRP製タンクの上に乗らないよう足場を設置。

＜ご提案＞

「防災電波レベル計」や「防災超音波レベル計」を設置し、
プラスチックタンク上部での作業を無くす。

タンク転落事故ゼロへ

《 現場の課題 》

化学工場での爆発事故の大半は静電気爆発と静電気着火が原因。
静電気事故防止対策を定めても抑止し切れない。

これまでは

- ・既存のアース装置を使用（但し法定数値を満たしているか分からない）
- ・設備停止時に防爆のテスターで測定

＜ご提案＞

「非接地検出器」で確実な接地を数値管理。
異常値を検知したら送液や充填を自動停止。

静電気スパーク事故ゼロへ

他にも各種防災ラインナップを取り揃えております。